

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）

総合研究報告書（分担）

定位放射線治療の臨床評価に関する研究

研究分担者 大西洋 山梨大学医学部 教授

研究要旨

放射線治療の質に関する指標（Quality Indicator：QI）を策定し、全放射線治療施設にアンケート調査を実施すると同時に、放射線腫瘍医、医学物理士等により、ランダムに選択した放射線治療施設への最初の訪問調査を行った。今後、訪問調査を拡大して結果を分析し、より良い高精度放射線治療の実現のための提言を行う予定である。

A．研究目的

高精度放射線治療機器を導入したがん診療連携病院を含む全国の放射線治療施設の実態調査をアンケートおよび訪問調査によって実施し、その実態、品質管理体制、臨床治療症例の実際の治療計画等の治療過程と結果等を調査し、その施設間差を明かにし、各施設にフィードバックし、本邦の放射線治療の質の向上に寄与する。

B．研究方法

放射線治療の質に関する指標（Quality Indicator：QI）を策定し、全放射線治療施設にアンケート調査を実施すると同時に、放射線腫瘍医、医学物理士等により、ランダムに選択した放射線治療施設への訪問調査を行い、より良い放射線治療の実現のための提言を行う。

（倫理面への配慮）

疫学研究に関する倫理指針に従って行う。患者の個人情報管理に十分留意する。

C．研究結果

特に肺癌に対する高精度放射線治療の質に関する指標（Quality Indicator：QI）

を策定、訪問調査用のアンケートを作成した。また、施設訪問で使用した。

D．考察

高精度放射線治療の機器・施設・スタッフは分散化されていた。

E．結論

高精度放射線治療の機器・施設・スタッフは集約化が必要である。

F．研究発表

論文発表

Onishi, H., Araki, T., Stereotactic body radiation therapy for stage I non-small cell lung cancer: Historical overview of clinical studies. Jpn J Clin Oncol. 2013 Apr;43(4):345-50.

学会発表

H. Onishi, Y. Shioyama, Y. Matsumoto, et al. Japanese multi-institutional study of stereotactic body radiotherapy for more than 2000 patients with stage I non-small cell lung cancer. 55th American Society for Therapeutic

Radiology and Oncology annual meeting
Boston, 2013.,

G . 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

胸腹2点式簡易型呼吸位相表示装置 (Abches)
(得願2006-049454)